



ホームページでもご覧いただけます。http://www.osaka-c.ed.jp/nose/index.html

# 能勢高校ニュースレター

第47号 H.23. 3月発行

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は未曾有の被害をもたらし、今なお懸命の救出作業と原子力発電所の冷却作業が余震と放射能の危険のなか行われています。震災に遭われて亡くなられた方々のご冥福をこころからお祈りし、被災地で困難な生活を強いられている方々にお見舞い申し上げます。今年度最終のニュースレター3月号をお届けします。

## 第57回 卒業証書授与式を行いました

平成23年3月1日火曜日、第57回卒業証書授与式を本校体育館にて挙行了しました。大阪府教育委員会代表をはじめ、多くの来賓の方々にご臨席賜り、また多くの保護者の皆さまにご出席をいただきました。第57期生75名に学校長より卒業証書が授与された後、学校長式辞、大阪府教育委員会はなむけの言葉、来賓の卒業生への花束贈呈が行われました。在校生を代表して生徒会長の加藤史帆さんが「卒業を送ることば」を述べ、それを受けて卒業生の小林朋子さんと松田桃子さんが、入学以来の様々な行事や出来事のスライドを映し出す中、思い出の数々と能勢高校への限らない愛惜に満ちた「卒業のことば」を述べました。最後に卒業生全員で「卒業のうた」である嵐の『season』を斉唱し、閉式となりました。教職員が万感の思いを込めて拍手するなか、卒業生は誇らしく堂々と式場をあとにしました。厳粛でありながら温かい思いに満ちた卒業式であったと思います。以下に卒業にあたり表彰を受けた生徒をご紹介します。〔敬称略〕

### 【皆勤賞】

桑田光, 林沙季, 深田雄介, 水越遥, 乾美咲  
田畑亜樹, 西本拓也, 芝本麻菜, 中村沙耶

### 【大阪府教育委員会賞】

小林朋子

### 【総合学科優秀者賞】

崎田瑞穂

### 【全国農業高等学校校長協会賞】

水越遥

### 【財団法人産業教育振興中央会会長賞】

松田桃子

### 【大阪実業教育協会大阪産業教育振興協議会会長賞】

水越遥, 宮下昂大 以上



式典中の卒業生たち



卒業生の退場

## 2月14日(月)に耐寒遠足を実施しました

3年ぶりの耐寒遠足を行いました。コースは学校を出て歌垣山を登り、堀越峠へ降りて妙見奥の院へ行き、真如寺から仏坂を通って帰校する約7kmのコースです。途中3か所のチェックポイントを通過します。

1, 2年生全員と3年生希望者合わせて約130名が参加しました。午前9時に元気にスタート、しかし歌垣山の登山はさすがにしんどかったようで、大半の生徒が息を荒くして登ってきました。昼前から小雪が降り始め、次第に強くなってきましたが、全員がんばって歩きました。学校へ戻って最終のチェックを受けるころから本格的な雪になってきました。

体力的にはしんどい行事でしたが、生徒はみな楽しく語り合いながら早春の雪の遠足を楽しんでいたようです。(生徒会顧問)



## 小北君と日当瀬君の総合的な学習の時間での取り組みが産経新聞に掲載されました

2人は能勢町にある障がい者入所施設「第2三恵園」での支援の実際を発表のテーマにしました。本校の真鍋校長が「実際に現場に足を運んで、よく調べた」と賞した内容でした。本校生が地域に学び、地域について発信する役割を果たしていることを嬉しく思います。

平成23年2月12日付産経新聞

「三恵園」日記

「障害者施設ではどんな仕事をしているのだろう」。高校生2人がこんな疑問をもとに施設を調査し学校で発表した。

府立能勢高校3年の小北剛志君(18)と日当瀬仁君(18)。発表したのは校内の学習発表会で、他の生徒が国際交流や環境問題などをテーマに選んだのに対し、2人は障害者入所施設「第2三恵園」(能勢町)の支援現場を取り上げた。

実は小北君のお母さん、みどりさんは同園で支援員をしている。日当瀬君はお姉さんが同園を利用している。

「人が人とかかわる仕事なので、とんどさはあるがやりがいがある、と」とお母さんの言葉が実感できた。と、小北君はお母さんを「ちょっと見直した様子。日当瀬君は「どの障害者も一人ひとり個性が違う。それを理解してその人にあった支援を心がけている」という職員さんの話を聞き、お姉さんが施設のことを楽しそうに話す理由がわかった」という。

「こんな2人にみどりさんは「ちょっとたくましくなったみたい」。

「障害者施設ではどんな仕事をしているのだろう」。高校生2人がこんな疑問をもとに施設を調査し学校で発表した。

施設内に入ると、利用者と職員が体操をしていた。「氷川きよしのズンドコ節」にあわせて歌って踊ってと、にぎやか。利用者も職員もみんなニコニコ笑っていた。

階段にはクッション材が敷かれていた。高齢の利用者が多いので転んでもけがをしないように、との説明に「細かなところにも工夫していて感心した」と小北君。リフトを設備した機械浴槽で日当瀬君は「体が不自由な人はこんな方法でお風呂に入るのか」と驚いた。

職員へも取材しての2人の発表は、3年生38グループの中でみごと最優秀賞を獲得。審査委員長の真鍋政明校長は「ネットで調べただけの発表が多い中、実際に現場に足を運び、目と耳でよく調べた」と評価す

高校生が見た障害者施設

産経新聞厚生文化事業団 (http://www.sankei-fukusi.or.jp) の施設からの報告

『わくわく教室』が毎日新聞に掲載されました

平成23年3月5日付毎日新聞

21 大阪 2011年(平成23年)3月5日(土)

おおさか

まなびやの宝

◇41◇

府立能勢高(能勢町上田尻、真鍋政明校長)は、家庭科の授業「発達と保育」の一環で、2年生が年間を通じて町内の幼児と触れ合いながら学ぶ「わくわく教室」を05年度から開いている。04年度に総型中高一貫教育を進め



る高校と、町の子育て支援センターが連携して始まった教室は、地域の人に生徒を身近に感じてもらう機会にもなっている。

わくわく教室



幼児と触れ合いながら学ぶ生徒ら  
—能勢町上田尻の府立能勢高で

府立能勢高校

女の三華ちゃん(3)と参加。上2人もわくわく教室「卒業生」で、「子どもも毎回楽しみにしていた。年の離れた子と生徒が交流するのは、互いにとっていい経験になったと思ふ」と振り返った。長男権一(1)と楽しんでいたのは、6年間指導を続ける山川真砂(30)だ。1月から3カ月間の育児休暇中で、「ちょっと見ない間に成長したな」と感じることができた。

【堀江拓哉】

週刊ニュースがわかる

本校では、能勢町子育て支援センターと連携し、2～3歳児とその保護者の方々を学校に招いて一緒に遊ぶ取り組みを、2年生家庭科の授業「発達と保育」の中の保育実習として行っております。4月に子育て支援センターを訪問して以来、2月16日は第9回の、そして今年度最後の交流でした。その様子が3月5日付の毎日新聞に掲載されました。

平成22年度授業評価アンケート結果

能勢高校では毎年7月と1月に全ての教科で授業評価アンケートを行っています。質問項目は15あり、授業に対する教員と生徒、それぞれの取り組み状況及び「学んでよかったか」をアンケートしています。年度内に2度行うのは、1回目の結果を受けて教員が自らの授業を振り返り、改善を図るためです。

今年度の結果は、右記の表の通りです。大部分の質問で肯定的意見が90%以上でしたが、生徒の予習・復習については、若干改善されたとはいえ70%台に留まっています。来年度は残りの30%の生徒が家庭学習の習慣をつけ、能勢高生全員が予習・復習をして授業に臨むことによって授業が最大限に活かされ、生徒の「学ぶ力」がさらに向上するよう、生徒諸君に働きかけていきます。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



質問項目	%	第1回(7月)				第2回(1月)				第1回	第2回	肯定的意見(A+B)の変動
		A	B	C	D	A	B	C	D	A+B	A+B	
教員の取組について	1. 成績の付け方を十分説明していた。	62	31	6	1	60	30	6	4	93	90	-3
	2. 生徒の質問には、その場で正確に答えていた。	60	35	4	1	60	33	5	3	95	93	-2
	3. 声の大きさや話し方は分かりやすかった。	62	30	7	1	63	26	7	3	92	89	-3
	4. 黒板の使い方はうまく、字は読みやすかった。	58	32	6	4	61	28	5	6	90	89	-1
	5. 教材や資料など授業の準備は十分されていた。	63	30	6	1	64	27	6	3	93	91	-2
	6. 内容に興味を引きつける工夫がされていた。	56	35	7	2	58	31	7	4	91	89	-2
	7. 生徒に平等に接していた。	64	30	5	1	63	28	5	4	94	91	-3
	8. みんなの名前を良く覚えていた。	63	31	4	1	66	26	5	3	94	92	-2
生徒自身の取組について	9. 遅刻や居眠り、私語に対してしっかりと注意していた。	59	32	8	1	61	28	8	3	91	89	-2
	10. 授業集中ができ、学ぶ雰囲気を作っていた。	60	31	6	3	60	29	6	5	91	89	-2
	11. 教科書、ノートなどは始業前に準備している。	67	24	7	1	68	24	5	3	91	92	1
	12. 集中して授業を受けている。	60	34	4	2	61	32	5	3	94	93	-1
	13. 授業内容が理解できている。	54	33	9	3	56	33	7	4	87	89	2
総評	14. 予習や復習をしてきましたか。	40	33	11	15	45	31	11	13	73	76	3
	15. 「学んでよかった」と思う。	60	28	10	2	59	30	7	3	88	89	1

平成22年度学校教育自己診断結果

今年度の学校教育自己診断結果について、紙面の都合上その概略をご報告します。詳しくはHPに掲載しておりますのでご覧ください。今年度結果において、生徒と教職員の自己評価は昨年度に比して向上したものが有り評価が下がった項目はありませんでした。次年度もこの傾向を維持し、さらに高い評価となるよう努力してまいりたいと思います。

生徒結果

判定 S:あてはまる85~100 A:あてはまる70~84 B:あてはまる55~69 C:あてはまる40~54 D:あてはまる39以下			
	内容	判定	H21判定
問1	学習する目標があるなど、自分には、学ぶことに対する意欲がある	B	B
問2	自分は、遅刻・頭髮・服装等、校則や生徒指導上のルールを守ることができている	A	A
問3	自分は、遅刻や私語がない等、集中して授業を受けることができている	B	B
問4	自分は、不必要なアルバイトをしないようにしている	B	B
問5	自分は、働くことの大切さや進学することの意義を理解できている	A	A
問6	希望する進路を実現するため、自分なりに努力している	B	B
問7	本校には、自分の興味や関心、進路希望等を満たしてくれる科目がある	B	C
問8	授業アンケート(生徒による授業評価)の結果が、授業の改善や工夫に活かされている	C	D
問9	産業社会と人間や総合的な学習の時間、ホームルーム等を通じたキャリア教育は、自分の将来を見つめるのに役立つと思う	B	C
問10	産業社会と人間や総合的な学習の時間等を通じ、自分は、発表する力や研究する力がついたと思う	C	C
問11	ホームページを通じ、学校での出来事や諸連絡等についての情報を得ている	D	D
問12	能勢高校は、地域から信頼される学校であると思う	C	D
問13	能勢高校に入学して良かったと思う	A	B